

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6 年 6 月 3 日	
富山県知事	
新田 八朗 殿	
提出者	
住 所 東京都千代田区神田和泉町1	
氏 名 Y K K株式会社 代表取締役社長 大谷 裕明	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-3864-2000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	Y K K株式会社 黒部事業所 黒部工場
事業場の所在地	富山県黒部市吉田200
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他の製造業
② 事業の規模	ファスニング事業売上高 3,794億円（2023年度実績）
③ 従業員数	3,629人（黒部事業所全体 2024年4月1日時点）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙1のとおり」

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「別紙2のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		「別紙3のとおり」	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t		t
	（これまでに実施した取組） ・製造工程内リサイクルを推進。 ・再資源化できない原料や、処理が困難な薬品使用を低減。 ・廃棄物となった場合に容易に減量化・循環利用ができるような製品を開発・製造。 ・脱水効率の向上等による中間処理を推進し、業者への処理委託量を削減。 ・紙ごみは、「上質紙」「新聞・雑誌類」「ダンボール」等に分別し、古紙リサイクルを徹底。 ・汚泥、OA機器（PC及び周辺機器）、再生用油・溶剤、金属くず、バッテリーの有価物化を促進した。 ・洗浄工程での溶剤使用量の削減。			
	【目標】 「別紙3のとおり」			
②計画	産業廃棄物の種類			
	排出量	t		t
	（今後実施する予定の取組） ・廃棄物発生抑制を考慮した製造方法の開発を継続。 ・分別向上、処理業者見直しによる産廃の有価物化の推進			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・工場各所に分別ステーションを設け、他の廃棄物が混ざらないよう廃棄物の種類ごとに分別を徹底している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・木パレットの再利用の促進を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	4,748 t	— t
(これまでに実施した取組) ・汚泥の含有率の低減による排出量の減容化。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	4,709 t	— t
(今後実施する予定の取組) ・排水処理において凝集剤の高効率化により、発生汚泥の削減。 ・スラッジの有価物化。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5 年度）実績】			「別紙3のとおり」
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・処理業者との委託契約の締結にあたっては、事前の現地訪問（処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認を実施。 ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結。 ・2023年度は、全量再生処分委託をおこない、再資源化率は100%であった。 			

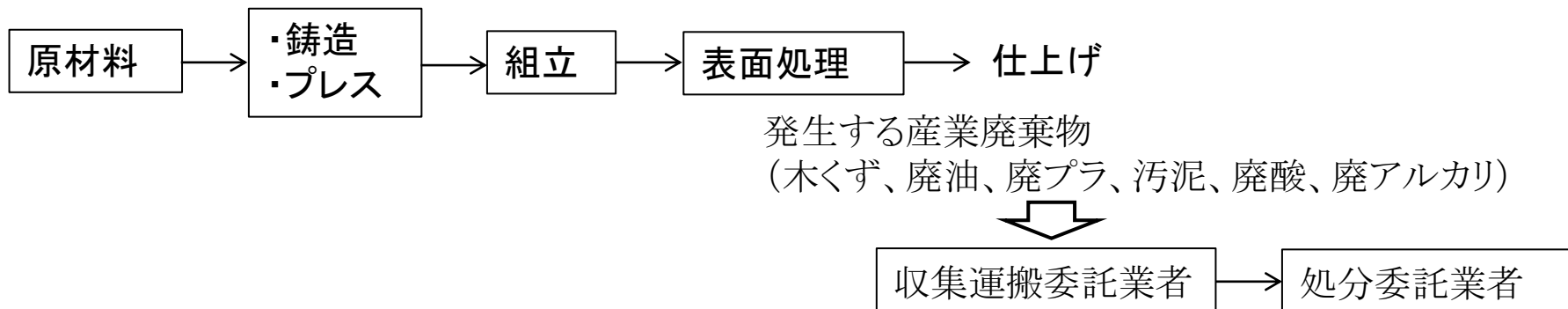
②計画	【目標】		「別紙3のとおり」	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
	(今後実施する予定の取組) ・処理業者との委託契約の締結にあたっては、事前の現地訪問（処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認を継続的に実施。 ・現地確認を通して、取引先の処理業者へ積極的に優良認定取得依頼を実施する。 ・より一層安心して、廃棄物処理を委託できるよう優良認定業者との取引を推進する。			
※事務処理欄				

備考

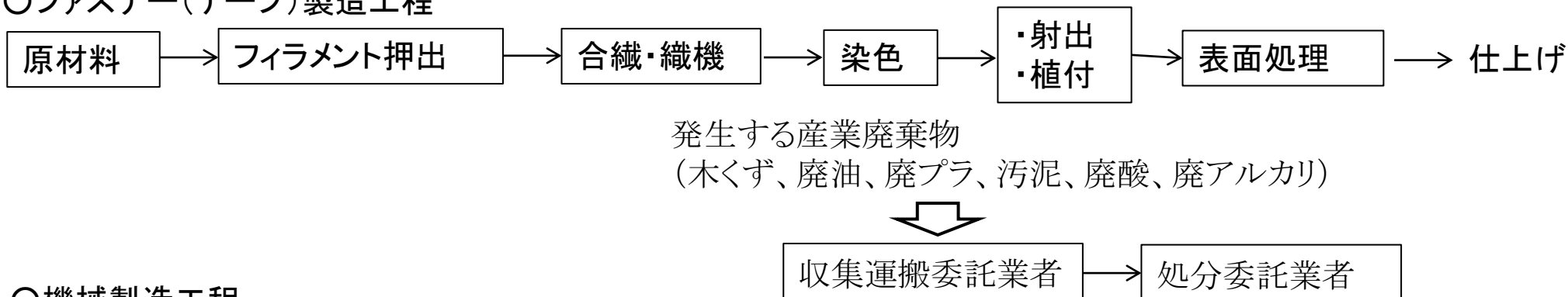
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程

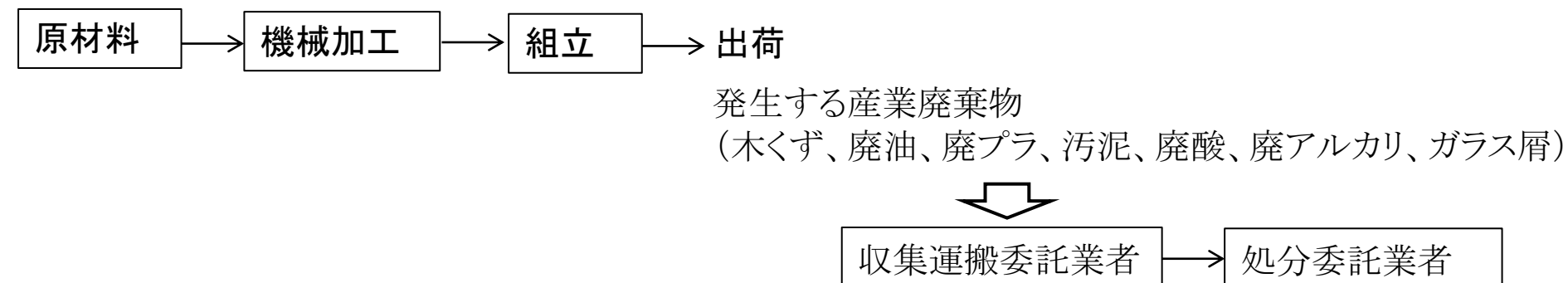
○ファスナー(スライダー)製造工程



○ファスナー(テープ)製造工程



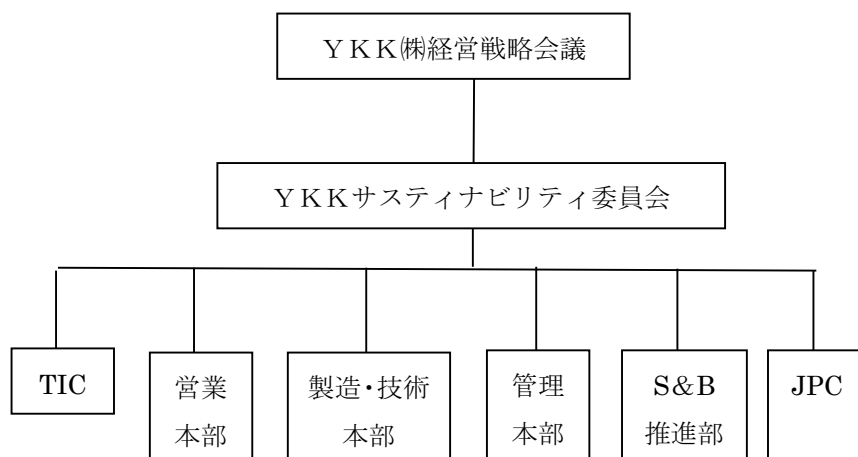
○機械製造工程



別紙 2

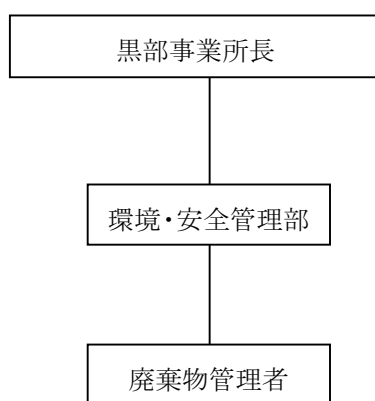
(管理体制図)

【YKKグループ】



- ・「YKKサステナビリティ委員会」は環境方針・政策策定・推進監督をおこなう。
- ・営業本部、製造・技術本部、管理本部、S&B推進部、JPC、関係会社は、各事業・組織の環境政策の執行及び推進を行う。

【YKK(株)黒部事業所】



※環境・安全管理部：公害、産業廃棄物、消防・危険物、省エネルギー等、環境関連事項を取り扱う。

【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】

單位：t

② 計画【目標】

單位：t

【産業廃棄物の処理の委託に関する事項】

单位：t

② 計画【目標】

單位：t

[illegible]